

検査入院の12時間後に

医者も知らない平穩死



連載56

先日、依頼された先に往診すると、栄養失調で衰弱した80代の高齢者が寝ていました。ご家族によると、数日前からほとんど食べていないとのこと。

血液検査をすると、胆道系の酵素が軒並み上昇していました。「胆道系の悪性疾患が疑われます。詳しく調べるには検査入院が必要です。でも、随分と体が弱っています。検査でもっと体が弱るかもしれません。どうしましょうか？」

ご家族は検査入院することを「薬は反対から読むと、リスク。同じように検査もある程度リスクがあります。特に衰弱した高齢者の検査入院には、リスクが伴います。病名は判明したけど、検査入院がかえって寿命を縮めてしまうことがあります。そつとそのままにしておいた方がよい場合もあります。考えてみてください。」

病名は分からないけど、3カ月間普通に生活できて亡くなるのと、病名は分かっただけど翌日に突然亡くなるのと、どちらがいいか――。答えはおのずと出るのではないでしょうか？

しかし亡くなられた方のご家族は、「苦しまなくてよかった」と涙ながらに話されていました。私にとつても、それが、せめてもの救いでした。

写真はイメージ

